

別府アルゲリッチ音楽祭シンポジウム 東アジア文化都市2022大分県コア事業

Change The World

～新しい社会の創造にむけて～

2022

12/3 (土) **しいきアルゲリッチハウス** [定員130名] 全席指定
開場12:30 開演13:00 終演16:40

【オンラインでの視聴可能】

要申込

* オンライン配信/14:20~16:40(予定)

《参加無料》

(裏面/申込方法)

東アジア文化都市選定を機に芸術と文化による「新しい社会の創造」をテーマにシンポジウムを開催します。皆さまと共に「人にとって真に幸福な社会」を考え、そのことを実現するための「Change (変化)」への第一歩を刻みたいと思います。

【第1部】

サクソフォン・ソロ・リサイタル

上野耕平



【第2部】

『今、芸術に期待し得ること』

平野啓一郎

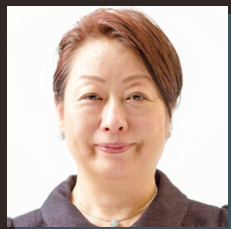
基調講演



©ogata_photo

【第3部】 パネルディスカッション

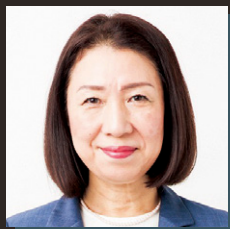
コロナ後の“新しい社会の創造”に向けた音楽など芸術文化の役割と活用について



町田智子

(公財)文字・活字文化推進機構 専務理事
日本ニュース時事能力検定協会 理事

モデレーター



山内千鶴

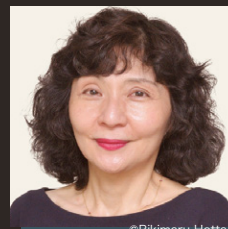
日本生命保険相互会社 顧問



大津良夫

(公財)水戸市芸術振興財団 常務理事
水戸芸術館 副館長

パネリスト



伊藤京子

(公財)アルゲリッチ芸術振興財団 副理事長
別府アルゲリッチ音楽祭 総合プロデューサー

主催 公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団
東アジア文化都市2022大分県実行委員会

後援 大分合同新聞社/朝日新聞大分総局/毎日新聞社/読売新聞西部本社/西日本新聞社/共同通信社/NHK大分放送局
OBS大分放送/TOSテレビ大分/OAB大分朝日放送/エフエム大分/ゆふいんラヂオ局 (申請中含む)



「マルタ・アルゲリッチの日」制定記念
～みんなのクラシック～



東アジア文化都市2022大分県



令和4年度文化資源活用推進事業

第1部

サクソフォン・ソロ・リサイタル 13:00 ～ 14:00

* 終了後、20分間の休憩

う え の こ う へ い

上野 耕平

サクソフォン

茨城県東海村出身。8歳から吹奏楽部でサクソフォンを始め、東京藝術大学器楽科を卒業。第28回日本管打楽器コンクールサクソフォン部門第1位・特別大賞(史上最年少)。2014年第6回アドルフ・サックス国際コンクール第2位。現地メディアを通じて日本でも話題になる。デビュー以来、常に新たなプログラムにも挑戦し、サクソフォンの可能性を最大限に伝えている。2017年度第28回出光音楽賞受賞。2018年第9回岩谷時子賞 奨励賞受賞。NHK-FM「x(かける)クラシック」の司会やテレビ「題名のない音楽会」「情熱大陸」など、メディアへの出演も多い。音楽以外にも鉄道と車をこよなく愛し、深く追求し続けている。最新ソロアルバムは「アドルフに告ぐII」。

第2部

基調講演

14:30 ～ 15:10

* 終了後、20分間の休憩

ひ ら の け い い ち ろ う

平野 啓一郎

小説家

1975年愛知県蒲郡市生。北九州市出身。京都大学法学部卒。

1999年在学中に文芸誌「新潮」に投稿した『日蝕』により第120回芥川賞を受賞。40万部のベストセラーとなる。以後、一作毎に変化する多彩なスタイルで、数々の作品を発表し、各国で翻訳紹介されている。著書に、小説『葬送』、『滴り落ちる時計たちの波紋』、『決壊』、『ドーン』、『空白を満たしなさい』、『透明な迷宮』、『マチネの終わりに』、『ある男』等、エッセイに『本の読み方 スロー・リーディングの実践』、『小説の読み方』、『私とは何か「個人」から「分人」へ』、『生命力』の行方～変わりゆく世界と分人主義』、『考える葦』、『カッコいい』とは何か』、『死刑について』等がある。

2019年に映画化された『マチネの終わりに』は、現在、累計60万部超のロングセラーとなっている。『空白を満たしなさい』の連続ドラマ化に続き、『ある男』を原作とする映画が2022年秋に公開予定。

最新作は、『自由死』が合法化された近未来の日本を舞台に、最新技術を使い、生前そっくりの母を再生させた息子が、『自由死』を望んだ母の、〈本心〉を探ろうとする長編小説『本心』。

第3部

パネルディスカッション 15:30 ～ 16:30

[閉会 16:30 ～ 16:40]

モデレーター

まち だ と も こ
町田 智子

(公財)文字・活字文化推進機構 専務理事
日本ニュース時事能力検定協会 理事

1982年朝日新聞社入社。取締役西部本社代表、取締役企画事業／女性プロジェクト担当、取締役東京本社代表／CSR／教育事業／女性P担当、上席執行役員を経て、22年6月から現職。京都大学経営協議会学外委員、国立西洋美術館評議員、歴史民俗博物館振興会理事、日本和文化振興プロジェクト理事、アゼラス株式会社取締役(非常勤)

パネリスト

や ま う ち ち づ る
山内 千鶴

日本生命保険相互会社 顧問

1975年日本生命保険相互会社に入社。2015年に執行役員CSR推進部長、2019年に取締役常務執行役員に就任。主に男性育休・女性の活躍推進、SDGsを含めたサステナビリティ経営、健康経営を担当。2021年より関西経済連合会のダイバーシティ&インクルージョン専門委員会の委員長。

お お つ よ し お
大津 良夫

(公財)水戸芸術振興財団 常務理事
水戸芸術館 副館長

1988年市長公室芸術館開設準備室管理係を経て、1993年財団法人水戸市芸術振興財団事務局長、2016年より公益財団法人水戸市芸術振興財団常務理事 兼 水戸芸術館副館長。

い と う き ょ う こ
伊藤 京子

(公財)アルゲリッチ芸術振興財団 副理事長
別府アルゲリッチ音楽祭 総合プロデューサー

1977年ブゾーニ国際コンクール第3位入賞。94年アルゲリッチ・チェンバーミュージック・フェスティバルをアルゲリッチと企画し、以来、アルゲリッチ音楽祭総合プロデューサーとして活躍中。ピノキオコンサートによる教育活動や芸術振興事業の顕著な功績に対して2016年「第3回JASRAC音楽文化賞」等受賞歴多数。

しいきアルゲリッチハウス

〒874-0903 大分県別府市野口原3030-1



新型コロナウイルス感染症対策に関するお客様へのお願い



公演の中止や延期を余儀なくされる場合もございます。
最新情報はアルゲリッチ芸術振興財団HPなどでご確認ください。



● JR別府駅から徒歩約15分
● 大分自動車道別府ICから車で約5分
● 大分空港から特急バス「エアライナー」にて別府北浜まで約40分

応募要項

参加を希望される方は、専用応募フォームよりご応募ください。

応募方法

QRコードもしくはURLより専用応募フォームへアクセスし、必要事項をご入力の上、ご応募ください。

https://argerich-mf.jp/program/2022_12_03

応募締切

2022年11月20日(日)24時00分 締切

定 員

会場参加：130 名
(応募者が多数の場合は抽選となります)

オンラインでの視聴：500 名

対 象 者

小学1年生以上
(中学生以下は保護者同伴)

年齢不問
(視聴に係る機器および通信費はお客様のご負担となります)

お問合せ

公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団

TEL. 0977-27-2299 [受付時間：10:00～18:00 / 土・日・祝 休み]

<https://www.argerich-mf.jp>



QRコードから
アクセス